

日本教育大学協会が評議員会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、6月17日（月）、評議員会をKKRホテル東京（東京都千代田区）において開催し、国立教員養成系大学・学部・附属学校の代表者をはじめ約150名が出席した。

冒頭、出口会長の挨拶では、「現在、教員養成大学・学部は危機的状況にあり、各方面から厳しい目で見られている。本日午前中に、学長・学部長を対象とした『第4期中期目標期間に向けた意見交換会』を行い、情報共有・意見交換を行ったが、本評議員会の場においても、活発な意見交換をお願いしたい。」と述べた。続いて、評議員会の議事進行を丹信介副会長（山口大学教育学部長）が務めることについて了承した。

会の前半は、文部科学省から施策説明があった。平千枝教育課程課専門官から新学習指導要領の全面实施と学習評価の改善について、佐藤有正情報教育・外国語教育課課長補佐から教育の情報化について、小野賢志情報教育・外国語教育課外国語教育推進室長から英語教育について、大濱健志児童生徒課長から生徒指導に関する施策等について、川口貴大特別支援教育課課長補佐から特別支援学校教諭免許状の保有率の向上・特別支援教育の概要について、奥井雅博高等教育企画課課長補佐から学生調査について、吉岡路高等教育企画課国際企画室専門官から大学等における安全保障貿易管理について、吉成竜也国立大学法人支援課課長補佐から高等教育を取り巻く最近の状況について、田中勉男女共同参画共生社会学習・安全課課長補佐から成年年齢引下げに伴う消費者教育について、栗井明彦男女共同参画共生社会学習・安全課安全推進室長から登下校時の子供の安全確保について、高田行紀教育人材政策課教員養成企画室長から教員養成大学・学部を取り巻く最近の動向について、それぞれ説明があり、意見交換を行った。

後半は、①平成30年度決算報告書（案）、②令和元年度事業計画（案）、③令和元年度予算書（案）について審議を行い、提案どおり承認した。その後、①平成30年度事業報告、②各常置委員会および各地区会報告について報告があった。



出口会長



丹副会長



小野室長

佐藤課長補佐

平専門官



大濱課長



吉成課長補佐

吉岡専門官

奥井課長補佐

川口課長補佐



栗井室長

田中課長補佐



高田室長



評議員会の様子